

熟練技術者の 暗黙知の見える化と、その承継・共有の仕組み【演習付】

1名分料金で
2人目無料

— 認知的タスク分析(CTA)で熟練技術者の思考プロセスを明らかに —

- ◆日時: 2018年10月30日(火) 10:30~16:30
- ◆会場: 新宿文化センター 4F 第4会議室
- ◆聴講料: 1名につき49,980円(税込、昼食・資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき**47,250円**
- ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,980円)**

※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 泉特許事務所 代表 弁理士 泉 克文 氏

特許業界30年のキャリアを持つ「弁理士」であり、特定の優秀社員が持つノウハウ、コツ、強み、教訓、経験といった暗黙知を見える化して組織知に転換する「暗黙知翻訳家」でもある。

【講座のポイント】

今回企画したのは、暗黙知見える化の具体的な手法をお伝えするセミナーです。ここで言っている「暗黙知」は、個人が持つノウハウ、コツ、強み、教訓、経験といったもので、言葉では伝えられない、あるいは、非常に伝えるに難しい知識や知恵のことです。

個人の頭の中にある暗黙知を引き出して見える化できれば、「技術や知識の属人性」という大きな問題がなくなり、技術や知識を「組織の資産」にできますから、熟練技術者の流出(消失)防止、若手・中堅社員の能力(スキル)向上、日常業務の効率化等、多くの成果が期待できます。(一部抜粋。詳細はHPをご覧ください。)

【プログラム】(※内容を省略して掲載しています。詳細はHPをご覧ください)

1. 導入—暗黙知とは何か

- 二種類の知識—形式知と暗黙知
- 暗黙知の二つの側面
- 暗黙知は人の直接経験から生まれる
- 仕事に含まれる暗黙知—多くは認知的スキル
- 重要な認知的スキル

状況認識(情報収集、情報解釈、状況予測)、意思決定(問題明示、選択肢の比較検討、選択肢の選択と実行、結果の評価)が中心

2. 暗黙知見える化を弁理士が始めた経緯

- 特許明細書作成という仕事で培われたスキル
 - ・発明(抽象的アイデア)を言語化・概念化するスキル
 - ・発明者から必要情報を引き出す面談スキル
- 発明の言語化・概念化スキルの暗黙知見える化への転用
- インタビュー(面談)スキルの暗黙知見える化への転用

3. 暗黙知見える化の全体像

- 熟練者によるタスク分析表の記入(自問自答による)
 - ・分析するタスク(○○の設計、○○の企画等)を特定
 - ・特定したタスクをサブタスクへ分解
 - ・各サブタスクの実施中に行っている思考・行動を記入
 - ・重要な認知的スキルを含むサブタスクを選択
 - ・重要な認知的スキルに必要なカン、コツ、ノウハウを記入
- インタビューによるタスク分析表の修正・追記
- インタビューによる認知的スキルの抽出・分析
 - ・選択したサブタスク中で行った思考プロセスを特定
 - ・特定した思考プロセスの詳細を分析
- 教材の作成
 - ・タスク分析表で入手した全データを整理
 - ・整理した結果を後継者が理解できる形で表現

4. 熟練者の特徴

- ・領域固有性
- ・パターン認識
- ・記憶能力
- ・知覚能力
- ・典型性・特異性
- ・前提と結論の認識能力

5. 暗黙知見える化の具体的な手法—認知的タスク分析と技能分析

- 認知的タスク分析(Cognitive Task Analysis, CTA)とは
- 認知とは—認識・理解・思考
 - ・注意、知覚、パターン認識、記憶、判断、意思決定、問題解決、推論等
- タスクとは—対象となる技術者の仕事
 - ・サブタスクとは—タスクを分解したもの
- 分析とは—サブタスク中の心的プロセスを分解・整理して言語化・概念化
 - ・自問自答とインタビューによる認知スキルの抽出(言語化)
 - ・抽出した認知スキルの整理・表現(概念化)
- 認知的タスク分析の例
 - ・熟練者の自問自答により作成したタスク分析表
 - ・インタビューが修正・追記したタスク分析表
 - ・インタビューが抽出・分析した認知的スキル
 - ・インタビューのコツ
 - ・タスク分析表の修正・追記のコツ
 - ・事例を用いた演習(Excelを使用)
- 教材の作成
 - ・タスク分析の結果に基づき教材を新規作成
 - ・タスク分析の結果に基づき既存教材を修正・追記
 - ・事例を用いた演習(PowerPointを使用)
- ベースとなった技能分析手法

6. 暗黙知見える化の結果の利用—後継者による認知的スキルの体得

- 座学による研修
 - ・熟練技術者本人による指導・解説
- 後継者による独習(トレーニング)

【質疑応答・名刺交換】

(講義内容が一部変わることがあります。予めご了承ください。)

『暗黙知の見える化』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、弊社へFAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしていませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>